

特集

地域活性化の推進

～観光資源の魅力を極める～

【特集の趣旨】

近年、我が国では高齢化や人口減少、産業構造の変化等により、地域の過疎化、衰退が進行しています。一方、各地で魅力ある地域づくりに向けて、地域資源を活用した地域活性化の取組が様々に展開されています。

観光は、交流・関係人口の拡大、雇用機会の増大による地域経済への寄与、国や地域を越えた交流による相互理解の増進といった意義を有しており、地域活性化の重要な柱です。

観光地を中心としたインフラ整備は、観光地を魅力的にし、観光地へのアクセスを向上させるなど、地域の活性化に重要な役割を果たしています。また、インフラは日常生活や経済活動を支えているだけではなく、それ自体が地域の自然環境や産業と密接に結びつき、固有の観光資源としての魅力を有する財産といえます。現在、各地でこれらインフラの特性を活かし、魅力ある場づくりや交流拠点の形成、普段触れることのできない施設内部や工事中の風景などを見学する「インフラツーリズム」が実施されています。

今号の特集では総論として、インフラ施設を活用した観光振興について概説し、各論としてインフラツーリズムの拡大を図った事例や良好なインフラ整備によって地域活性化につながった事例について紹介します。

特集担当編集委員 木下 彰裕
(国土交通省 住宅局 住宅総合整備課 課長補佐)



普段は一般開放していない管理用通路を通り豊平峡ダムの放流口を見学
(本号P17～21「かわたびほっかいどう」より)



CONTENTS

インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト	8
バスタ新宿におけるインフラツーリズムの実施に向けて	11
「道の駅」の特徴を活かした取組	14
かわたびほっかいどう	17
歴史と伝統の地域資源を活用したまちづくり	21
港湾緑地における官民連携の推進	24